

社会環境の変化と行政の対応

- 今後は、社会環境の変化（人口減少、少子・高齢化等）が見込まれる中、各分野において、行政としての対応が必要。
- 今回、特にダウンサイジングプロセスにおける行政の対応が求められる分野として、教育・農業を懇談会のケーススタディの第一弾として取り上げ、両分野における議論を通じて、ダウンサイジングプロセスにおける国・行政のあり方について検討。

社会環境の変化

人口減少
少子・高齢化
グローバル化
IT化

【検討課題】（懇談会でのケーススタディ）

教育

農業

IT

社会保障

地域
サービス

etc

仮案

国・行政のあり方に関する懇談会の全体構成

平成25年		
10月 29日	第1回	今回の検討に先立つ問題意識の整理 (例) 今回の懇談会で取り上げるテーマとして何が考えられるか？わが国の経済社会が今後とも持続的に発展していく上で、政府・国民に求められることは何か？
11月 25日	第2回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その1） ～国民の意識の変化と民主主義の深化 (例) 国民の価値観・幸福感の多様化は、社会のあり方にどのように影響するか（共助の担い手の多様化（シェアリング、疑似家族等）や経済外的な価値の再評価など）？国民に、この国を支えているとの意識はあるか？新しい参加型の民主主義の可能性？
12月 10日	第3回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その2） ～世界の中での課題先進国としての日本の責務と存在意義 (例) 人口減少に伴うダウンサイジングプロセスにおいて、社会経済構造はいかなる変革を迫られるか？持続的な経済社会を確保するためには、いかなる戦略が必要か？日本らしさの長所・短所を、どのように活用し、見直していくか？
平成26年		
1月	第4回	これから留意すべき視点と国家に求められるもの（その3） ～安全保障環境の変化、潜在的なリスク (例) 大震災、感染症、テロ、エネルギー等の潜在的リスク、東アジアにおける国際政治環境の新展開（2015年、日中軍事バランスの逆転等）のなかで、何が求められるか？リスク管理機能をどのように強化するか？
2月	第5回	経済社会に資する行政の革新とは何か？ (例) 業務効率化、国民の利便性向上のために、IT化やITツールなどを行政にどう活用できるか？行政と民間の相互作用を通じて産業・地域の活性化に資する分野は何か？
3月	第6回	現場でのサービスの改善、地域での行政のあり方 (例) 各行政機関間の連携や、更には行政と地域のプレイヤー（個人、企業、非営利団体など）が連携することで、地域における行政サービスの質の一層の向上を図れないか？
	第7回	社会における国や行政の役割をどのように定義するか (例) 個人の主体性を基礎とした社会（自助をベースとした共助・公助のバランス、地域の伝統的共同体、非営利団体等）のあり方をどう考えるか？その実現に必要な条件は何か？その上で国の役割をどう再定義するか？
4月	第8回	国や行政がやるべきことは何か (例) 納税者による負担、長期的な国の持続性を踏まえて、何が必要か？国や行政が最後までやるべきことは何か？どのような基準で政府の活動を厳選・吟味すべきか？
	第9回	政府の効率化と機能強化をどのように実現するか？ (例) 近視眼的・硬直的なものでなく、未来を見据え、長期的視野に立った施策をどう実現するか？コストに見合った、より一層効果的な施策への転換を図るには、何が必要か？
5月	第10回	“強い経済、安心な社会”の構築と政府の役割の再定義 (全体的整理)
6月	予備日	

(注) 今後変更があり得る。